

エコアクション21 25期 環境経営レポート

(活動期間 2021年10月1日～2022年9月30日)



株式会社 パルコミュニケーションズ

発行日：2022年12月26日

改訂日：2023年3月10日

目次

1 環境経営方針	2
2 事業所の概要	3
3 エコアクション2.1 実施体制	5
4 環境経営目標と実績	7
5 環境経営計画及び取組結果と評価、次年度の取組内容	9
6 エコ製品への取り組み	12
7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	13
8 具体的な環境経営取組	14
9 全体の評価と見直し	17



1. 環境経営方針

環境経営方針

基本理念と目的

パルコミュニケーションズグループは、環境問題が地球規模または次世代へ及ぶ人類最大の問題と認識し、未来の子供たちを想う家族「親」としての発想をもって、健全で夢のある事業活動を通じ、社内と地域経済発展において、「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の形成を基に、持続可能な社会の発展に向けて努力して参ります。

パルコミュニケーションズグループはこの様な基本理念に従い、経済活動、事業投資並びに環境経営について、以下の環境経営方針に基づき、継続的な維持と改善を図りつつ当社の環境経営方針を遵守します。

環境経営方針

1. 環境関連法規を含む、全ての法を遵守し維持に努めます。
2. 自然循環型エネルギー社会を目指し、太陽光発電所などの自然環境型エネルギー事業を通じ CO₂ 削減に貢献します。
3. 環境に優しい商品を選択し、購入に努めます。
4. 化石エネルギーの使用を減らし、CO₂ の削減に努めます。
5. 貴重な水資源の節約に努め無駄を無くします。
6. 廃棄物発生を抑制し、可能な限り再利用とリサイクルに取り組み、資源の有効活用に努めます。
7. 事業活動に適応される環境法規制を厳守致します。



この環境経営方針は、全従業員に周知すると共に、広く開示致します。

制定日 2013年11月18日

改定日 2023年3月7日

株式会社パルコミュニケーションズ

株式会社 パルエナジーマネジメント

代表取締役社長 五十嵐 修



2. 事業所の概要

- 会社名 : 株式会社パルコミュニケーションズ
所在地 : [本社]
〒950-0853 新潟県新潟市東区東明1丁目9-8
TEL 025-286-1225 FAX 025-286-1226
[東京営業所]
〒144-0054 東京都大田区新蒲田2-20-1
TEL 03-6428-7547 FAX 03-6428-7548
- 株式会社パルエナジーマネジメント
[本社] 〒950-0853 新潟市東区東明1丁目9-8
TEL 025-286-1225 FAX 025-286-1226
- 代表者 : 代表取締役社長 五十嵐修
設立年月日 : 1997年10月
資本金 : 1000万円
従業員数 : 19名
加盟団体 : 緊急地震速報利用者協議会 日本CATV技術協会 会員
新潟県太陽光発電導入促進協議会 会員
一般財団法人「おらって」にいがた市民エネルギー協議会 加盟
新潟市異業種交流研究会協同組合
- 許可番号 : 電気通信工事業 新潟県知事許可(般-30)第41533号
電気工事業 新潟県知事許可(般-30)第41533号
トキの森クレジット NIG-200-000-000-028-841
~NIG-200-000-000-028-841
阿賀悠久の森クレジット 200-000-000-043-737~200-000-000-043-737

【対象範囲】(株)パルコミュニケーションズ本社、東京営業所
(株)パルエナジーマネジメント



<事業内容>

●電気通信工事業

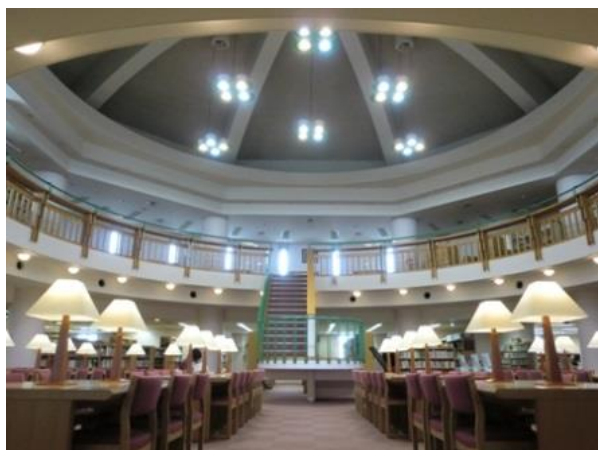
CATV、CATV インターネット、緊急地震速報、電波障害コンサルタント

●エコ事業

太陽光発電システム、LED 照明

●太陽光発電所事業

●電気自動車充電設備工事



LED照明施工実績



LED照明施工実績



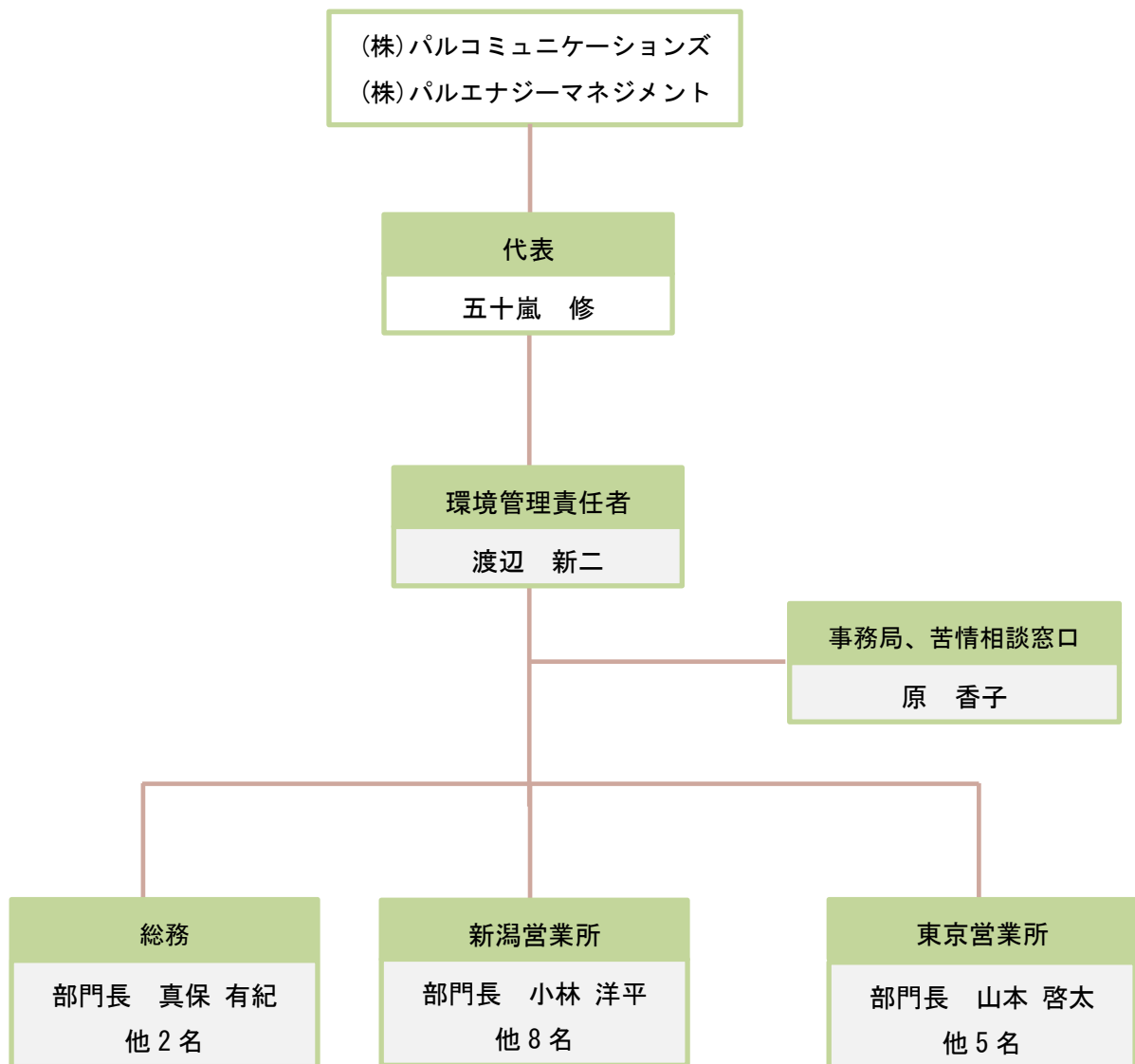
太陽光発電所施工実績



電気通信工事



3. エコアクション 21 実施体制 体制図



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・実施体制の構築及び経営資源（人、もの、資金、情報）の用意
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・活動計画書を確認 ・環境経営目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況の定期的な評価・確認・指示 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進委員会の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等とりまとめ表」に基づく順守評価の実施 ・環境経営目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・文書・記録の保管（法・条例で規定する場合を除き、記録の保管期限は3年とし、その後廃棄）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・必要と判断された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



4. 環境経営目標と実績

25 期の全組織の環境経営目標は、次表に表す通りである。

◆① 25 期 2021 年 10 月～2022 年 9 月の目標と実績（全組織）

環境項目		基準値 (2020. 10 ～2021. 9)	目標値	実績 (目標値に対して 削減又は増加率)	目標達成状況 ○：達成 ×：未達成
二 酸 化 炭 素 排 出 量 削 減	CO ₂ 排出量 (kg) ※1	63, 643	63, 007 (1%削減)	73, 032 (15%増加)	×
	電気使用量 (kWh)	20, 178	19, 976 (1%削減)	22, 903 (14%増加)	×
	ガソリン (ℓ)	13, 730	13, 593 (1%削減)	13, 036 (4%削減)	○
	軽油 (ℓ)	7, 772	7, 694 (1%削減)	11, 410 (48%増加)	×
水使用量 (ℓ)		99	98 (1%削減)	104 (6%増加)	×
産業廃棄物 (kg)		12, 723	12, 596 (1%削減)	7, 701 (39%削減)	○
一般廃棄物 (kg)		532. 1	526. 7 (1%削減)	494. 9 (6%削減)	○
エコ製品 (販売・工事件数)		256	259 (3 件増加)	237 (22 件減)	×

※1 電力の排出係数は、(株)Loop、東京電力エナジーパートナー(株)令和1年度調整後排出係数を各年度に採用しました。

令和1年度調整後排出係数 0. 544kg-CO₂/kwh

※2 グリーン購入の割合(グリーン購入用品数/事務用品購入数) ×100

※3 化学物質は使用していません。

※4 ガス、灯油は使用量が少ないため個別に記載しておりませんがCO₂排出量に含まれております。



◆②中長期目標（全組織）

環境経営目標は、本社及び東京営業所を含んだ3か年目標として策定しました。

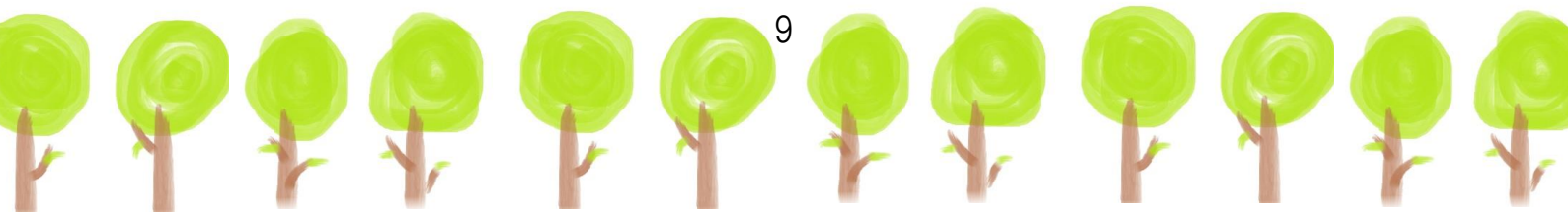
項目	単位	基準年度 実績 24期 (2020.10～ 2021.9)	中長期目標（削減値）			
			25期 (2021.10～ 2022.9)	26期 (2022.10～ 2023.9)	27期 (2023.10～ 2024.9)	
二酸化炭素排出量削減	CO ₂ 排出量	kg	63,643	63,007 (1%削減)	62,370 (2%削減)	61,734 (3%削減)
	電気使用量	kWh	20,178	19,977 (1%削減)	19,775 (2%削減)	19,573 (2%削減)
	ガソリン	ℓ	13,730	13,593 (1%削減)	13,456 (2%削減)	13,319 (3%削減)
	軽油	ℓ	7,772	7,695 (1%削減)	7,617 (2%削減)	7,539 (3%削減)
水	m ³	99	98 (1%削減)	97 (2%削減)	96 (3%削減)	
産業廃棄物	kg	8,498	8,414 (1%削減)	8,329 (2%削減)	8,244 (3%削減)	
一般廃棄物	kg	532.1	526.7 (1%削減)	521.4 (2%削減)	516.1 (3%削減)	
エコ製品	件	256	259 (3件増加)	262 (6件増加)	264 (8件増加)	



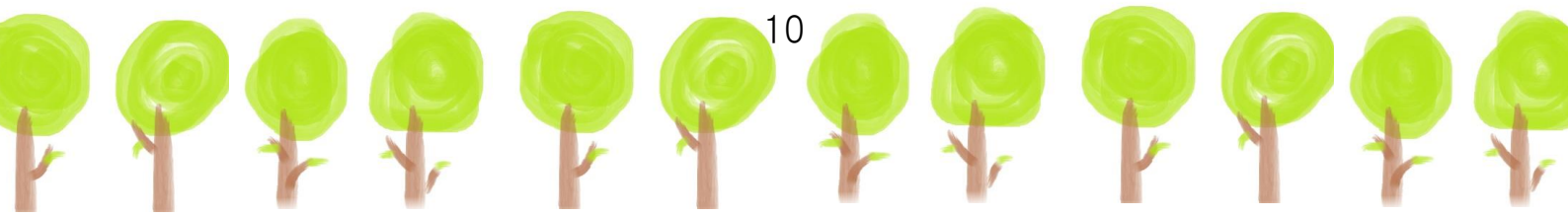
5. 環境経営計画及び取組結果と評価、 並びに次年度の環境経営目標と環境経営計画

○・・・実施できた △・・・一部未実施 ×・・・ほとんど実施できていない

項目	取組内容	実施状況	評価	
二酸化炭素排出量削減	PC	PCを省電力モードにする	○	全PC設定済み
		離席時はディスプレイオフする	○	離席時にディスプレイオフする習慣が全社員身についてきている。
	空調	応接間のエアコンスイッチを忘れずに切る	○	ほぼ良好で使用後のスイッチを切るように徹底されていた。
		暖房を20℃に設定	△	20℃より高く設定している日があった。
		冷房を28℃に設定	△	猛暑日は冷房の温度が低い日が何度かあった。
		ウォームビズ活動の推進	○	服装を調整している様子が窺えた。
		クールビズ活動の推進	○	去年に比べて、現場に出ないときは作業着ではなく半袖に着替える社員が増えた。
		エアコンのフィルターを定期的に掃除する	△	年末にフィルターを掃除しているため定期的にしていない。
	ガス	冬季以外のガス給湯機器使用禁止	△	ほぼ実施できていたが冷え込みが激しい日はガスを使用した。
	照明	人がいない時の給湯室、階段、トイレ、倉庫における消灯徹底	○	ほぼ良好で消灯が徹底されていた。
		昼間使用していないエリアの消灯徹底	○	昼間使用していないエリアの消灯する社員が増えている。
		外出前、自分のエリアに人がいない場合、消灯徹底	○	ほぼ良好で消灯が徹底されていた。
		残業時の不要箇所での消灯	○	退社時に自分のエリアに人がいない場合消灯して帰るようになり不要箇所の消灯が守られている。



項目		取組内容	実施状況	評価
二酸化炭素排出量削減	エコドライブ	効率的なルートを探す	○	点検で実施している確認がとれた
	エコドライブ	エコドライブの周知	○	点検で実施している確認がとれた
	待機電力の削減	長期休み中はプリンタ、PCコンセントのスイッチを切る	○	長期休み前にスイッチを切ることが定着してきた
		使用していないコンセントのスイッチを切る	○	ほぼ良好で実施できていた。
	ウォーターサーバーのスイッチをこまめに切る	△	ウォーターサーバーのスイッチ切り忘れていることがあった	
グリーン購入		エコマーク、環境に優しい商品を優先的に購入する	○	点検で積極的にグリーン購入を心掛けていることが確認できた。
		詰め替え用品などを利用し、事務用品の長期使用を心がける	○	点検で、積極的に事務用品の再利用を心がけていることを確認できた。
		環境ラベル一覧を掲示しそれを基に購入する	○	環境ラベル一覧を掲示した。
節水		節水POPを貼る	○	POP作成済み。
		水道の栓をこまめに止める	○	点検で実施している確認がとれた
		洗車時間の短縮、バケツ洗いの強化	○	点検で実施している確認がとれた



項目	取組内容	達成状況	評価
廃棄物削減	廃棄物の分別徹底	○	点検でゴミの分別をキチンと心がけていることが確認できた。
	再使用・リサイクルできるものは廃棄しない (現場部材・事務用品)	○	点検で、部材・事務用品の再利用を心がけていることが確認できた。
	コピー用紙両面使用の推進	○	点検で、コピー用紙両面使用を心掛けていることを確認できた
	無駄なコピーを減らす	○	会議などでペーパーレス会議を行うようになった。
エコ製品	エコ製品(LED照明、太陽光発電システム等)の販売促進	○	点検で、エコ製品の販売促進を心がけていることが確認できた。

次年度の環境経営目標は、8頁、中長期目標に記載のとおりです。

また、次年度の環境経営計画は9頁に記載した2021年度の環境経営計画を継続し実施します。



6. エコ製品への取り組み

エコ事業部ではLED照明・太陽光発電システム、EV充電器の設置工事をメインに行っております。

環境に配慮した製品の推進をしつつ、最適なプランの提案を行うことで、消費電力の削減と二酸化炭素排出量削減に大きく貢献し、環境負荷軽減につながっているものと考えられます。また太陽光発電システム販売・工事によって、昼間の電力需要ピークを緩和し、温室効果ガス排出量の削減につながっていると考えられます。

【25期(2021年10月～2022年9月)でのエコ製品の取り組み結果】

LED照明販売・工事、太陽光発電システム工事、EV充電器・V2H設置工事

本社	142件
東京営業所	95件
合計	237件

本年度は新潟県内の環境フェスティバルに積極的に参加し、電気自動車の普及活動に力を入れて参りました。電気自動車を、一般市場においてもっと多く普及させる為のコンサル事業にも着手する事が出来ました。

また、パルエナジーマネジメント社で所有する太陽光発電所は合計で14ヶ所となり、25期(2021年10月～2022年9月)の期間中には総発電量1,385,819kwhの発電を行いました。

今後も再生可能エネルギーについて様々な見地から普及を目指すために、地域社会に貢献し、環境負荷軽減に役立つLED照明・太陽光発電システム、EV充電器設置工事の提案、販売促進に日々努力を重ねてまいります。



7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

○・・・遵守している △・・・準備中、取組中 ×・・・遵守できていない

法規名称	要求事項	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	マニフェスト管理と交付等状況報告、処理業者との契約	○
自動車リサイクル法	車両入替時、適正に処理	○
家電リサイクル法	廃家電の適正処理	○
小型家電リサイクル法	使用済みの小型電子機器等の再資源化	○
新潟市産業廃棄物等の適正な処理の促進等に関する条例	産廃処分委託業者の施設稼働状況の確認	○
東京都廃棄物条例	産廃処分委託業者の施設稼働状況の確認	○
公共工事発注仕様書	低騒音対策、グリーン資材調達	○
建設リサイクル法	分別解体及び、建設廃棄物の再資源化	○
浄化槽法	浄化槽の維持・管理	○
水質汚濁防止法	貯油施設に関する事故時の措置	○
新潟市火災予防条例	指定数量未満の危険物の貯蔵及び取り扱い	○
下水道法	排水の定期検査	○
フロン排出抑制法	定期的点検の義務づけ	○

自主点検の結果、関連法規における違反、事故等はありませんでした。

また、関連当局からの違反の指摘は過去3年間無く、近隣住民からの苦情・訴訟もありませんでした。



8. 具体的な環境経営取組



スイッチ近くに節電POPを貼っています。



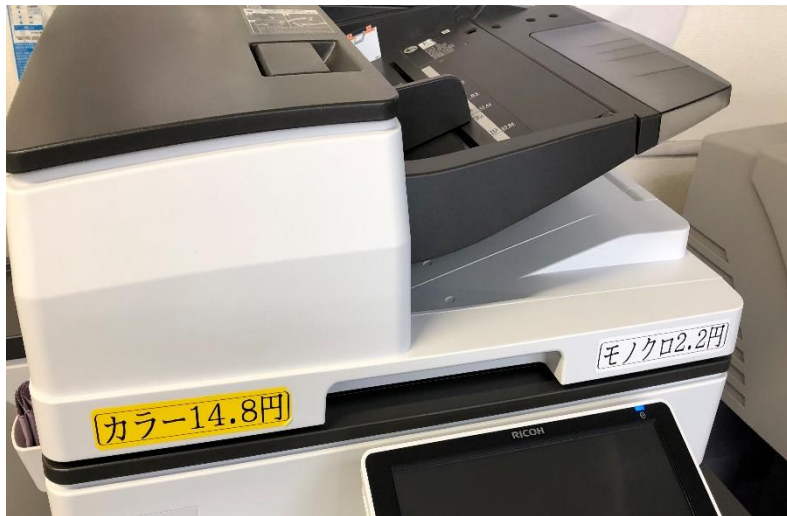
水道の脇にPOPを貼っています。



賞味期限切れの防災用水をウォッシャー液等に使用しております。



社員が使うキャビネットに使用していないコンセントを抜くよう呼びかけるPOPを貼っています。



コピー料金を貼っています。



適正温度を呼びかけています。



社用車にエコドライブを呼びかけたPOPを貼っています。



ゴミの分別を呼びかけています。





LED照明を使用しております。



当社屋根の上に太陽光パネルを
のせました。



古民家モデルハウス
太陽光、EV 充電器、V2H 機器を備
えております。



9. 全体の評価と見直し

実施時期(2022年12月)

【見直しの結果】

項目	変更の必要性	指示事項
① 環境経営方針	なし	改めて社内周知を行う
② 環境経営目標	なし	改めて社内周知を行う
③ 環境経営計画	なし	改めて社内周知を行う
④ 実施体制	なし	改めて社内周知を行う
⑤ その他	なし	改めて社内周知を行う

【全体の評価】

基本的な経済活動と環境への両立を図る事は、同時に相反する数値改善を社内に求める事となり、経営的に難しい側面は今も否めません。しかしそうした環境経営の中で今現在で導入できる可能性のある商材は随時取り組んできました。

環境負荷の低い LED 照明や太陽光に代表されるソーラー発電の積極的な自営設備への導入、また昨年から今年にかけては電気自動車も積極的に配置することで、社用車のガソリンについて削減効果があったと理解出来ます。しかしその分電気使用量が上がってしまいますが、まずは自らの社用車による排出ガスを規制して CO2 を大幅に減らす貢献は重要であると捉え今後も率先して導入を進めてまいります。今はコロナ禍の中で企業運営も大幅変化を迫られており、当社商材も大きな変化を余儀なくされました。またそんな渦中にあってもエネルギー政策は待たなしで環境負荷低減を求められている分野として、当社の企業活動に今後も生かしていく所存です。また社内で削減した以上に、私たちが提供する LED 設備や太陽光の商材で大きな省エネ化と創エネ化を図ってこれた事は、通信設備を主だった商材として来た当社の地域社会への環境貢献への転換は、社員一人一人の意識の中でも確実に培われ、浸透して来たものと自負できます。

しかし、マクロで分析すればまだまだ未達成な部分もありますので、そうした数字への意識もエコアクションを通じて更なる環境改善に向けて取り組んで参る所存です。

